

「知的財産推進計画2026」：知財を経営と成長のエンジンへ

創造：AI時代の価値創出と人材育成

生成AIとの調和を回りつつ、多様な創造人材を育成し、経済安保の観点から技術流出防止を徹底します。

最重要の戦略的施策：
AIプリンシプル・コードの策定
生成AIの学習・利用における透明性を確保し、クリエイターへの適切な対価還元が行われる環境を整備します。

活用：社会実装とスタートアップ支援

大学知財の活用促進や、戦略17分野へのIPランドスケープ導入、国際標準戦略の推進により、技術を市場価値へ転換します。

最重要の戦略的施策： 知財・無形資産ガバナンス改革

令和8年度（2026年度）をめぐり、有価証券報告書等での知財情報開示方針を具体化し、資本市場との対話を促します。

評価と課題：
ソフトロー（指針）の実効性が焦点
制度の高度化に伴う実務負担増に対し、法務・財務・知財を統合した一気通貫の支援体制が不可欠です。

日本政府 知的財産推進計画2026



保護：海賊版対策と権利救済の強化

AIを活用した海賊版検知や、侵害者の不当な利益を剥奪する民事救済措置の検討により、権利者の利益を守ります。

評価と課題：
声・肖像のAI無断利用への対応
ディープフェイク等による権利侵害に対し、パブリシティ権や人格権の観点から明文化されたルールの必要性が議論されています。

コンテンツ： クールジャパン戦略の刷新

日本製コンテンツの海外展開を一気通貫で支援し、地方創生と連動した外資獲得の軒挿隙を創出します。

WIPOグローバル・イノベーション指数
現状 **12位** → 目標 **上位4位以内**
(2035年)

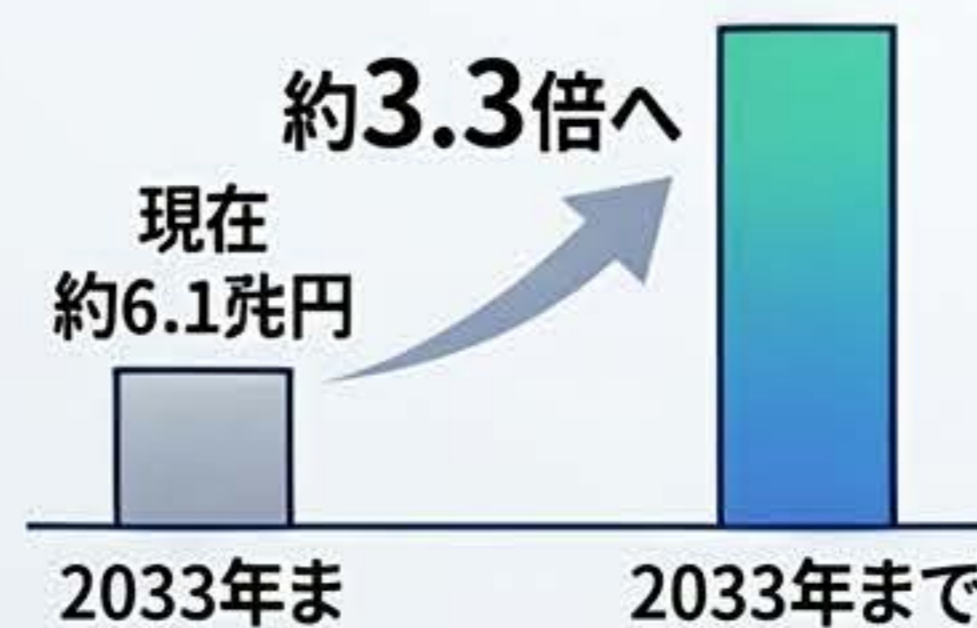
日本企業のAI利活用率
現状 **55.2%** → 目標 **概ね100%**

ジャパンサーチ連携メタデータ 分野・地域アーカイブ連携機関数
現状 **約3,216万件** (2030年) → 目標 **5,000万件** (2030年)

2030-2035年への野心的な数値目標

日本発コンテンツ海外市場規模

「20兆円」



日経225企業の無形資産割合

「50%以上」



クールジャパン関連の海外展開

「50兆円以上」

